

私立大学情報教育協会
平成25年度
大学職員情報化研究講習会
基礎講習コース報告

C班あついスクール

1

C班
「あついスクール」
紹介します！

嵐のような雨。そう、スクールです。
この季節、スクールは嫌ですね！
でも、わたしたち・・・
スクールのような議論しましたから！！
あつい議論でした！
あついスクールをおねがいします^^

2

発表テーマ

これからの学生支援

3

これからの学生支援

テーマ選定理由(1) 大学の役割

私たちが考えた大学の役割

人材育成機関としての大学の役割

⇒ 社会で活躍するために
必要な力を備えた人材を育成し輩出する

役割を果たすために、大学は何をしなければいけないのか

学生生活の支援

⇒ 学生生活を様々な面からサポートする

4

これからの学生支援

テーマ選定理由(2) 大学の現状

大学の現状はどうだろうか？

多様化する学生に対して有効な支援ができていない

⇒ 目的意識、学力、コミュニケーション能力の不足
などの理由から、学生生活に行き詰まる学生も・・・

役割を果たすために、どのような取り組みが必要なのだろうか？

多様な学生に有効な学生支援策を講じること

⇒ 出席不良、孤立、学業不振などのシグナルに
早めに対応する

5

テーマ選定理由(3) このテーマを選んだ理由

大学の役割、大学の現状を踏まえて、何が重要と考えたのか？

有意義な大学生活を送ってもらうことで

消極的な退学者を出さない大学を目指すべきである



これからの学生支援

6

問題点の深堀

どのような議論が行われたか？

- 基礎学力不足の学生に対して
入学前教育、初年次教育などの補習が不足している
- 意欲がないまま入学している学生に対して
早期のキャリア教育がなされていない
- 学生の学習意欲低下に対して
魅力ある授業づくりが不足している
- 学生の危険シグナルに関する情報を共有したいが、できていない
- 教職員の対応が遅く、積極性に欠ける
- 主体性重視の大学教育の姿勢が、学生に浸透させきれていない

7

解決策の検討

1. 入学の目的、意欲、特徴を大学は早期に把握する
2. 新入生研修会、1年次ゼミの実施
3. 学生カルテなどの活用で情報共有を図る
4. 共有した情報をもとに早めの面談を実施
5. キャリア教育の充実、魅力ある授業づくり

8

大学のイノベーションの提案

1. 入学の目的、意欲、特徴を大学は早期に把握する
⇒ 入学者の実態把握
2. 新入生研修会、1年次ゼミの実施
⇒ 友人づくり、コミュニケーション機会の醸成
3. 学生カルテなどの活用で情報共有を図る
⇒ ひとりひとりの学生生活情報の把握
4. 共有した情報をもとに早めの面談を実施
⇒ 教職員によるきめ細やかなサポート体制
5. キャリア教育の充実、魅力ある授業づくり
⇒ 学修意欲・学力不足を補うサポート制度の導入

9